

## 本 会 記 事

### I. 平成 27 年度第 2 回評議員会議事録

日 時：平成 28 年 3 月 20 日（金）15:00～17:30

場 所：岡山コンベンションセンター405 会議室（岡山県  
岡山市北区駅元町 14-1）

評議員出席者：

相野公孝, 秋光和也, 阿久津克己, 青木孝之, 有江 力,  
古屋廣光, 濱本 宏, 平塚和之, 平八重一之, 廣岡 卓,  
一瀬勇規, 石黒 潔, 岩井 久, 景山幸二, 金山晋治,  
川北一人, 北 宜裕, 児玉基一朗, 近藤則夫, 久保康之,  
増田 税, 中島 隆, 難波成任, 夏秋知英, 西口正通,  
大島一里, 奥野哲郎, 佐野輝男, 高橋英樹, 高橋賢司,  
高松 進, 瀧川雄一, 田代暢哉, 富岡啓介, 土佐幸雄,  
土屋健一, 津田新哉, 月星隆雄, 對馬誠也, 渡邊 健,  
吉川信幸, 寺岡 徹会長, 桑田 茂副会長, 宇垣正志庶  
務幹事長

以上評議員 44 名（定数 57 名, 欠席：荒瀬 榮, 畔上耕児,  
長谷川裕, 曳地康史, 百町満朗, 松永 礼, 森田健二,  
夏秋啓子, 根岸寛光, 大木 理, 佐藤豊三, 田中文夫,  
柘植尚志）

幹事・事務局出席者：吉田重信庶務副幹事長, 松下陽介庶  
務幹事, 越智 直庶務幹事, 前島健作会計幹事, 鍵和田  
聡副会計幹事, 松原美穂事務局員, 水藤早紀事務局員

#### 1. 審議事項

(1) 平成 28 年度日本農学進歩賞および日本学術振興会  
賞受賞候補者の選定（寺岡会長）

日本農学進歩賞受賞候補者に前島健作氏, 日本学術振興  
会賞受賞候補者に山次康幸氏を推薦することが提案され,  
承認された。

(2) 平成 28 年度定期総会資料の検討（寺岡会長）

1) 平成 27 年度会務報告

①庶務報告（松下庶務幹事）

会員数, 会員の逝去, 学会報発行実績, 役員会・委員会開  
催状況, 総会・大会開催状況, 部会開催状況, 談話会・研究  
会・教育プログラム等開催状況, 名誉及び永年会員の推挙,  
学会賞, 学術奨励賞, 論文賞, 日本農学進歩賞受賞候補者推  
薦, 日本学術振興会賞受賞候補者推薦, 学生優秀発表賞並び  
に平成 28 年度副会長選挙結果について報告された。

②創立 100 周年記念事業実施報告（難波 100 周年記念事  
業実行委員長）

記念事業の内容並びに平成 23 年 1 月から平成 27 年 12 月

までの記念事業全体の会計について報告された。

③会計報告（前島会計幹事）

一般会計収支, 貸借対照表, 正味財産増減計算, 財産目  
録について報告された。

④会計監査報告（平塚会計監査）

会計監査の結果, 収支決算が適正であることが報告された。

⑤学会報編集報告（岩井編集委員長）

和文誌及び英文誌の編集報告がなされた。英文誌のイン  
パクトファクターが 3 月 15 日現在 1.024 と 1 を越えたこ  
と, 一方, 国内からの和文誌・英文誌への投稿が減少傾向  
であること等が報告された。

以上の会務報告が一括して承認された。

2) 平成 28 年度会務案

①行事案（越智庶務幹事）

学会報の発行, 大会・部会・談話会及び研究会等の開催,  
学会賞・学術奨励賞及び論文賞等の選考, 学生優秀発表賞  
の選考, 名誉会員及び永年会員の推挙, 平成 29 年度副会  
長選挙, 日本農学賞・日本農学進歩賞・日本学術振興会賞  
等の受賞候補者の推薦を行うことが提案された。

②予算案（鍵和田新会計幹事）

会費収入を中心とする事業活動収入並びに会報刊行及び  
大会等の開催を中心とする事業活動支出に関する一般会計  
予算案が提案された。

③学会報編集計画案（川北新編集委員長）

英文誌 6 報, 和文誌 4 報を, 名古屋大学を編集事務局と  
して発行することが提案された。国内からの投稿数を増や  
す必要があることが報告された。

④平成 28 年度役員及び委員（宇垣庶務幹事長）

平成 28 年度役員および委員について提案された。

以上の会務案が一括して承認された。

3) 総会資料の承認

平成 28 年度定期総会資料が承認された。

(3) 評議員アンケート結果と対応（鍵和田副会計幹事）

第 1 回評議員会での決定に基づき実施された評議員に対  
するアンケートの結果が報告され, それに基づく対応につ  
いて協議した。

①日本植物病理学会論文審査編集規程の改正

編集委員長, 編集幹事長および編集幹事の任期を, 現行  
の「2 年 2 期まで」から「原則 2 年 1 期」とする等の提案  
について賛成が多かったことが報告され, 承認された（対  
照表を総会資料 II-3 に別掲）。

②日本植物病理学会報（和文誌・英文誌）投稿規程の改正  
和文誌・英文誌ともに頁数の超過が著者の負担となっているため超過限度頁数を緩和する等の提案について賛成が多かったことが報告され、3月20日から実施することが承認された（対照表を総会資料II-3に、投稿規程全文を本号録頁に別掲）。

③日本植物病理学会報（和文誌）投稿細則の改正  
和文誌の投稿細則中の現状にそぐわない文言を修正する等の提案について賛成が多かったことが報告され、3月20日から実施することが承認された（対照表を総会資料II-3に、投稿細則全文を本号録頁に別掲）。

④日本植物病理学会報（和文誌・英文誌）の投稿料の改正  
和文誌・英文誌ともに頁数の超過が著者の負担となっているため、超過限度頁数を緩和する等の提案について、賛成が多かったことが報告され、3月20日から実施することが承認された。

⑤大会要旨集の電子化について  
電子化に賛成する意見が最多であったが反対する意見も一定数あり、意見が収束していないことが報告され、今後は大会本部の考えに任せること等が提案され、承認された。

⑥2017年日韓シンポジウムおよび2020年アジア植物病理学会議の開催について

平成29年度に盛岡での大会に合わせて開催される予定であった第4回日韓シンポジウムについて、韓国側から、同年韓国のチェジュ島で開催予定の第6回アジア植物病理学会に合わせて開催したい旨提案があったことが報告され、その提案を受入れることが承認された。平成32年度のアジア植物病理学会議開催については、国際化対応委員会に諮問することが承認された。

⑦各種の賞選考について  
学会として各種の賞に適任者を積極的に推薦することに賛成の意見が多かったことが報告され、承認された。

(4) 平成29年度大会開催場所および日程の承認

平成29年度大会は、平成29年4月26日～4月28日、盛岡市で開催することが承認された。

(5) 平成30年度大会開催ブロックの確認

平成30年度大会は近畿ブロックで開催することが確認された。

## 2. 報告事項

(1) 会計監査選挙結果報告（平塚選挙管理委員長）

平成28年度～29年度の会計監査に濱本宏、夏秋啓子、根岸寛光の3氏が選出されたことが報告された。

(2) 和文誌PDF版（J-STAGE）のカラー化（前島会計幹事）

図1点あたりのカラー化に要する経費が800円となり、これについては学会で負担する旨が報告された。

(3) 病名委員会（富岡病名委員長）

病名目録（2015年版）の発行、病名目録編集に係る補助員の賃金実績、平成28年度の病名委員会の構成等について報告された。

(4) 技術士対応委員会（濱本技術士対応委員）

平成27年度の技術士（植物保護）第二次試験合格者が報告され、合格者総数が103名となり100名を越えたことが報告された。大会期間中に開催される技術士試験対策セミナーの案内があった。

(5) マイナンバー制度・源泉徴収への対応状況（前島会計幹事）

各種研究会や部会開催にともない発生する謝金等の源泉税への対処について、研究会・部会の担当者向けの説明会を大会期間中に開催することが報告された。

(6) 日本農学会報告（前島会計幹事）

平成28年度日本農学会評議員会の議事の概要が報告された。

(7) 国際植物保護科学会（IAPPS）Region X 運営委員会報告（有江評議員）

有江評議員が運営委員長および東北アジア地区の理事となることが報告された。

(8) 環境微生物系学会合同大会2017準備委員会報告（吉田庶務幹事）

2017年8月に東北大学で開催予定の環境微生物系学会合同大会についての第2回開催準備委員会の議事の概要が報告された。

(9) その他

国際化対応委員会より、学生交換事業において昨年度はオーストラリアン2名枠について1名のみ応募がありすでに派遣済であること、今年度は2名がオーストラリアンから来日する枠があることが報告された。

男女共同参画学協会連絡会対応委員より、同連絡会にオブザーバー参加して、有用な情報があれば学会HPに掲載していることが報告された。

3. 平成28年度大会委員長挨拶（委員長代理：鈴木信弘氏）

4. 平成29年度大会委員長挨拶（吉川評議員）

## II. 平成28年度定期総会

平成28年3月21日に岡山コンベンションセンター（岡

山県岡山市北区駅元町 14-1) において開催された平成 28 年度定期総会において、以下の議案がいずれも承認された。

(計 9,198 部)

[内 国内交換 5 / 国内寄贈 7 / 広告主 7 / 名誉会員 34 / 永年会員 64 / 賛助会員 64 / 準会員 131 / (計 312)]

II-1. 平成 27 年度会務報告

1. 庶務報告

(1) 会員数 計 1,897 名 (平成 28 年 1 月 1 日現在)

- 名誉会員 35 名
- 永年会員 68 名
- 正会員 1,274 名 (内 外国会員 19 名)
- 学生会員 260 名
- 学部生会員 20 名
- 準会員 131 団体
- 賛助会員 41 社 (109 口)

(2) 会員のご逝去

- 向島博行氏 平成 26 年 12 月
- 荒木隆男氏 平成 27 年 3 月 2 日
- 松本和夫氏 平成 27 年 4 月 13 日
- 澤村健三氏 平成 27 年 4 月 13 日
- 小宮康平氏 平成 27 年 5 月 10 日
- 正子 朔氏 平成 27 年 6 月 9 日
- 佐藤昭二氏 平成 27 年 7 月 2 日
- 高橋幸吉氏 平成 27 年 9 月 14 日
- 塩澤宏康氏 平成 27 年 11 月 11 日
- 浅賀宏一氏 平成 27 年 11 月 15 日

(3) 学会報

- 発行部数 英文誌：第 81 巻 1~6 号 各 2,000 部  
(計 12,000 部)
- 和文誌：第 81 巻 1~2 号 各 2,050 部  
(計 4,100 部)
- 第 81 巻 3~4 号 各 2,000 部  
(計 4,000 部)
- 頒布部数 英文誌：国内 (1~6 号) 各 1,691 部  
(計 10,146 部)
- 国外 (1~6 号) 各 79 部  
(計 474 部)
- 計 各 1,770 部  
(計 10,620 部)

[内 国外交換 42 / 国外寄贈 6 / 名誉会員 34 / 永年会員 11 / 賛助会員 64 / 準会員 131 / (計 288)]

- 和文誌：国内 (1~4 号) 各 1,807 部  
(計 7,228 部)
- 国外 (1~4 号) 各 63 部  
(計 252 部)
- 計 各 1,863 部

(4) 役員会・委員会開催状況

- 第 1 回評議員会 平成 27 年 11 月 21 日
- 第 2 回評議員会 平成 28 年 3 月 20 日
- 幹事会 平成 27 年 5 月 9 日  
8 月 1 日  
9 月 5 日  
11 月 21 日  
平成 28 年 1 月 30 日  
2 月 20 日  
3 月 20 日

- 編集委員会 平成 28 年 3 月 20 日
- 賞選考委員会 平成 27 年 9 月 5 日
- 功績者推薦委員会 平成 27 年 10 月 9 日  
(メール会議)

- 選挙管理委員会 平成 27 年 11 月 12 日
- 病名委員会 平成 27 年 3 月 29 日
- 学会ニュース編集委員会 平成 27 年 3 月 31 日
- 教育プログラム推進委員会 平成 27 年 3 月 31 日
- 技術士対応委員会 平成 27 年 7 月 27 日
- 5 学会技術士育成推進委員会 平成 27 年 10 月 8 日

(5) 総会・大会開催状況

- 総会 平成 27 年 3 月 29 日  
明治大学 (千代田区)
- 大会 平成 27 年 3 月 29~31 日  
明治大学 (千代田区)  
参加者：1,071 名, 一般講演：409 題

(6) 部会開催状況

- 北海道部会 平成 27 年 10 月 16 日  
北海道大学 (札幌市)  
参加者：93 名, 一般講演：21 題,  
談話会講演：4 題
- 東北部会 平成 27 年 9 月 28~29 日  
東北大学川内北キャンパス (仙台市)  
参加者：87 名, 一般講演：32 題
- 関東部会 平成 27 年 9 月 10~11 日  
宇都宮大学農学部 (宇都宮市)  
大雨特別警報発表により中止
- 関西部会 平成 27 年 9 月 29~30 日  
あわぎんホール徳島県郷土文化会館  
(徳島市)  
参加者：213 名, 一般講演：81 題

- 九州部会 平成27年11月11~12日  
ホテル セントヒル長崎(長崎市)  
参加者:70名, 一般講演:24題, 特別講演:2題, シンポジウム講演:3題
- (7) 談話会・研究会・教育プログラム等開催状況
- 第25回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム  
平成27年1月15日  
東京農業大学グリーンアカデミーホール(世田谷区)  
参加者:115名, 講演題数:8題
- 第15回植物病原菌類談話会  
平成27年3月30日  
明治大学リパティータワー(千代田区)  
参加者:167名, 講演題数:4題
- 第11回植物病害診断教育プログラム  
平成27年7月27~31日 神戸大学農学部(神戸市)  
参加者:27名, 話題提供:9題
- 平成27年度(第50回)植物感染生理談話会  
平成27年8月24~26日  
道後温泉 メルパルク松山(松山市)  
参加者:86名, 講演題数:16題, ポスター発表:35題
- EBC研究会ワークショップ2015(第11回)  
平成27年9月15日 JAビル会議室(千代田区)  
参加者:112名, 講演題数:12題
- 第9回植物病害診断研究会  
平成27年10月26~27日 秋田拠点センターALVE  
多目的ホール(秋田市)  
参加者:126名, 講演題数:7題
- (8) 名誉会員の推挙  
第1回評議員会で今年度は推挙しないことが決定された。
- (9) 永年会員の推挙  
第1回評議員会で次の方を推挙することが決定された(ABC順).  
児玉不二雄氏, 内藤秀樹氏, 吉村大三郎氏, 善林六朗氏
- (10) 平成28年度学会賞  
第1回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された(ABC順).  
相野公孝氏 「植物内生細菌を利用したナス科青枯病の生物防除に関する研究」  
曳地康史氏 「感受性の成立に関わる植物病原細菌と宿主植物の相互作用研究」  
佐藤豊三氏 「植物病原糸状菌の形態と分子系統に基づく分類同定および宿主特異性等に関する研究」
- (11) 平成28年度学術奨励賞  
第1回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された(ABC順).  
黒瀬大介氏 「植物病原糸状菌を利用した難防除外来雑草の制御に関する研究」  
前島健作氏 「ウメ輪紋ウイルスの同定と診断技術の開発および分子疫学的研究」  
松下陽介氏 「園芸作物に感染するウイロイドの生物学的特性に関する研究」
- (12) 平成28年度論文賞  
第1回評議員会で次の2件に授賞することが決定された(掲載順).  
Kensaku Maejima, Misako Himeno, Osamu Netsu, Kazuya Ishikawa, Tetsuya Yoshida, Naoko Fujita, Masayoshi Hashimoto, Ken Komatsu, Yasuyuki Yamaji, Shigetou Namba  
Development of an on-site plum pox virus detection kit based on immunochromatography  
Journal of General Plant Pathology 80(2):176-183 (2014)  
Nobumitsu Sasaki, Ryuki Shishikura, Hiroshi Nyunoya  
Formation and intracellular movement of cytoplasmic bodies of the tomato mosaic virus 126-kDa replication protein in association with its movement protein  
Journal of General Plant Pathology 80(3):272-281 (2014)
- (13) 平成27年度日本農学進歩賞受賞候補者推薦  
平成27年度日本農学進歩賞受賞候補者として志村華子氏を推薦した。
- (14) 平成27年度日本学術振興会賞受賞候補者推薦  
平成27年度日本学術振興会賞受賞候補者として川口章氏を推薦した。
- (15) 平成27年度学生優秀発表賞  
平成27年度大会で学生優秀発表賞に20名を選考した。
- (16) 平成28年度副会長選挙  
平成27年10月施行(開票は11月12日), 夏秋知英氏が選出された。
2. 日本植物病理学会創立100周年記念事業実施報告
- (1) 英文誌100周年記念総説刊行  
(2) 和文誌特集号「100周年記念総説集」刊行  
(3) 記念式典・記念講演  
(4) 記念シンポジウム  
(5) 記念祝賀会  
(6) 「日本植物病理学100年史」刊行  
(7) 会計報告

会計収支計算書（平成 23 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日まで）

（単位：円）

科 目	決 算 額	備 考
収入の部		
特定資産取崩収入	11,404,581	
100周年記念事業特別基金取崩	10,000,000	H24：240万円，H26：600万円，H27：160万円
学術事業安定化基金取崩	1,404,581	H25：250万円，H26：100万円の一部
事業収入	4,474,235	
100周年記念祝賀会参加費	4,474,235	506名
寄付金収入	2,300,000	
特別協賛金	2,100,000	21口（BASF ジャパン株式会社，エフエムシー・ケミカルズ株式会社，北興化学工業株式会社，石原産業株式会社，株式会社クレハ，丸和バイオケミカル株式会社，Meiji Seika ファルマ株式会社，日本農薬株式会社，一般社団法人日本植物防疫協会，日本曹達株式会社，株式会社ニッポンジーン，日産化学工業株式会社，有限会社精興園，シンジェンタジャパン株式会社，雪印種苗株式会社）[ABC順]
祝儀	150,000	名誉会員4名（小島 誠，大内成志，佐古宣道，高橋 壮） 永年会員4名（菊本敏雄，久保 進，飯島 勉，井上成信）
故與良清名誉会員金封	50,000	
収入計	18,178,816	
支出の部		
会議費支出	1,644,205	
会議費	61,085	第1・4・9回実行委員会
旅費交通費	1,583,120	第1・2・3・4・6・9回実行委員会，第3回運営委員会
行事費支出	8,792,234	
100周年記念式典等会場費	271,080	
100周年記念式典奏楽費	186,660	
100周年記念昼食会費	250,720	
100周年記念祝賀会費	7,284,600	622名（うち招待者116名）
会場設営運営費	290,474	生花，看板，懸垂幕等
旅費交通費	454,700	来賓，招待者等
撮影費	54,000	
編集印刷費支出	7,736,627	
パンフレット等デザイン印刷費	848,699	
100周年記念総説集印刷製本費	2,350,620	和文誌第80巻特集号
日本植物病理学100年史編集経費	29,668	
日本植物病理学100年史編集活動費	120,000	山田昌雄名誉会員
日本植物病理学100年史印刷製本費	4,056,480	2,000部（上製本400部，並製本1,600部）
学会報カラー掲載費	331,160	和文誌第81巻第4号，英文誌81巻第6号
雑支出	5,750	
消耗品費	5,750	
支出計	18,178,816	
収支差額	0	

## 3. 平成27年度会計報告

(1) 一般会計収支計算書(平成27年1月1日から平成27年12月31日まで)

(単位:円)

科目	予 算 額	決 算 額	差 異
<b>I 事業活動収支の部</b>			
<b>1. 事業活動収入</b>			
<b>会費収入</b>	21,655,000	21,577,500	77,500
正会員会費	12,750,000	12,610,000	140,000
学生会員会費	1,300,000	1,371,000	△71,000
学部生会員会費	10,000	21,000	△11,000
外国会員会費	180,000	153,000	27,000
準会員会費	1,965,000	1,972,500	△7,500
賛助会員会費	5,450,000	5,450,000	0
<b>会報刊行収入</b>	8,580,000	9,110,470	△530,470
頒布収入	2,400,000	2,771,348	△371,348
広告料	180,000	171,000	9,000
著者負担金	6,000,000	6,168,122	△168,122
<b>事業収入</b>	14,300,000	20,675,187	△6,375,187
大会	7,000,000	7,569,163	△569,163
部会	3,000,000	2,022,520	977,480
談話会・研究会	3,500,000	3,649,263	△149,263
教育プログラム	800,000	660,006	139,994
100周年記念事業収入	0	6,774,235	△6,774,235
<b>研究成果公開促進費収入</b>	2,400,000	3,600,000	△1,200,000
<b>雑収入</b>	165,000	155,687	9,313
預金利息	15,000	12,679	2,321
雑収入	150,000	143,008	6,992
<b>事業活動収入計</b>	47,100,000	55,118,844	△8,018,844
<b>2. 事業活動支出</b>			
<b>会報刊行費支出</b>	21,400,000	22,457,268	△1,057,268
印刷製本費	16,000,000	16,188,196	△188,196
編集費	5,400,000	6,269,072	△869,072
<b>事業支出</b>	16,980,000	14,571,409	2,408,591
大会	8,000,000	6,837,055	1,162,945
部会	3,700,000	2,826,247	873,753
談話会・研究会	3,980,000	3,985,440	△5,440
教育プログラム	1,300,000	922,667	377,333
<b>学術奨励関係費支出</b>	800,000	753,679	46,321
<b>国際学術交流費支出</b>	380,000	210,540	169,460
<b>情報電子化費支出</b>	1,400,000	1,182,689	217,311
HP充実費	420,000	420,000	0
情報維持費	980,000	762,689	217,311

男女共同参画支援費支出	200,000	232,000	△ 32,000
負担金支出	982,000	401,600	580,400
日本技術者教育認定機構 (JABEE)	50,000	50,000	0
日本農学会	132,000	151,600	△ 19,600
植物保護科学連合	50,000	50,000	0
日本微生物学連盟	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPP)	600,000	0	600,000
事業運営費支出	2,450,000	2,447,511	2,489
会議費	800,000	820,786	△ 20,786
旅費交通費	1,500,000	1,393,825	106,175
各種委員会関係費	150,000	232,900	△ 82,900
管理費支出	4,865,000	5,104,314	△ 239,314
通信運搬費	450,000	512,754	△ 62,754
消耗品費	150,000	167,621	△ 17,621
事務管理費	3,365,000	3,365,000	0
印刷費	250,000	171,218	78,782
外部監査管理費	150,000	149,600	400
雑支出	500,000	738,121	△ 238,121
100周年記念事業支援金支出	11,000,000	13,779,183	△ 2,779,183
事業活動支出計	60,457,000	61,140,193	△ 683,193
事業活動収支差額	△ 13,357,000	△ 6,021,349	△ 7,335,651
<b>II 投資活動収支の部</b>			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	6,200,000	1,600,000	4,600,000
学術事業安定化基金取崩	4,600,000	0	4,600,000
100周年記念事業特別基金取崩	1,600,000	1,600,000	0
投資活動収入計	6,200,000	1,600,000	4,600,000
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	6,200,000	1,600,000	4,600,000
<b>III 財務活動収支の部</b>			
当期収支差額	△ 7,157,000	△ 4,421,349	△ 2,735,651
前期繰越収支差額	7,248,664	7,248,664	0
次期繰越収支差額	91,664	2,827,315	△ 2,735,651

## 収支計算書に対する注記

## 1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金・未払金、仮払金・前受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

## 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	14,195,264	12,893,695
未 収 金	1,051,400	1,439,100
仮 払 金	1,000,000	1,667,000
合 計	16,246,664	15,999,795
未 払 金	0	4,156,480
前 受 金	8,998,000	9,016,000
預 り 金	0	0
合 計	8,998,000	13,172,480
次期繰越収支差額	7,248,664	2,827,315

## (2) 貸借対照表 (平成27年12月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	12,893,695	14,195,264	△ 1,301,569
現金	368,482	133,768	234,714
部会等現金	97,428	355,993	△ 258,565
普通預金	8,265,022	10,018,769	△ 1,753,747
部会等預金	3,400,060	3,381,399	18,661
振替貯金	762,703	305,335	457,368
未収金	1,439,100	1,051,400	387,700
仮払金	1,667,000	1,000,000	667,000
流動資産合計	15,999,795	16,246,664	△ 246,869
2. 固定資産			
特定資産			
学術事業安定化基金	22,021,662	22,021,662	0
学術奨励基金	17,027,595	17,027,595	0
国際学術交流基金	9,649,267	9,649,267	0
100周年記念事業特別基金	0	1,600,000	△ 1,600,000
特定資産合計	48,698,524	50,298,524	△ 1,600,000
固定資産合計	48,698,524	50,298,524	△ 1,600,000



資産合計	64,698,319	66,545,188	△ 1,846,869
<b>II 負債の部</b>			
流動負債			
未払金	4,156,480	0	4,156,480
前受金	9,016,000	8,998,000	18,000
流動負債合計	13,172,480	8,998,000	4,174,480
負債合計	13,172,480	8,998,000	4,174,480
<b>III 正味財産の部</b>			
一般正味財産	51,525,839	57,547,188	△ 6,021,349
正味財産合計	51,525,839	57,547,188	△ 6,021,349
負債及び正味財産合計	64,698,319	66,545,188	△ 1,846,869

## 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
学術事業安定化基金	22,021,662	0	0	22,021,662
学術奨励基金	17,027,595	0	0	17,027,595
国際学術交流基金	9,649,267	0	0	9,649,267
100周年記念事業特別基金	1,600,000	0	1,600,000	0
合 計	50,298,524	0	1,600,000	48,698,524

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
学術事業安定化基金	22,021,662	(0)	(22,021,662)	(0)
学術奨励基金	17,027,595	(0)	(17,027,595)	(0)
国際学術交流基金	9,649,267	(0)	(9,649,267)	(0)
100周年記念事業特別基金	0	(0)	0	(0)
合 計	48,698,524	(0)	(48,698,524)	(0)

## (3) 正味財産増減計算書(平成27年1月1日から平成27年12月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	21,577,500	21,360,276	217,224
正会員会費	12,610,000	12,305,000	305,000
学生会員会費	1,371,000	1,470,000	△ 99,000
学部生会員会費	21,000	7,000	14,000
外国会員会費	153,000	198,276	△ 45,276
準会員会費	1,972,500	1,980,000	△ 7,500
賛助会員会費	5,450,000	5,400,000	50,000
会報刊行収益	9,110,470	8,533,576	576,894
頒布収益	2,771,348	904,768	1,866,580
広告料	171,000	214,000	△ 43,000
著者負担金	6,168,122	7,414,808	△ 1,246,686
事業収益	20,675,187	16,842,012	3,833,175
大会	7,569,163	10,236,225	△ 2,667,062
部会	2,022,520	2,322,717	△ 300,197
談話会・研究会	3,649,263	3,776,037	△ 126,774
教育プログラム	660,006	507,033	152,973
100周年記念事業	6,774,235	0	6,774,235
研究成果公開促進費収益	3,600,000	2,500,000	1,100,000
雑収益	155,687	159,910	△ 4,223
預金利息	12,679	15,510	△ 2,831
雑収益	143,008	144,400	△ 1,392
経常収益計	55,118,844	49,395,774	5,723,070
(2) 経常費用			
会報刊行費	22,457,268	21,382,768	1,074,500
印刷製本費	16,188,196	16,225,336	△ 37,140
編集費	6,269,072	5,157,432	1,111,640
事業費	14,571,409	19,524,053	△ 4,952,644
大会	6,837,055	12,026,225	△ 5,189,170
部会	2,826,247	2,812,875	13,372
談話会・研究会	3,985,440	4,234,538	△ 249,098
教育プログラム	922,667	450,415	472,252
学術奨励関係費	753,679	745,483	8,196
国際学術交流費	210,540	220,507	△ 9,967
情報電子化費	1,182,689	1,064,370	118,319
HP充実費	420,000	420,000	0
情報維持費	762,689	644,370	118,319

男女共同参画支援費	232,000	0	232,000
負担金	401,600	483,750	△ 82,150
日本技術者教育認定機構 (JABEE)	50,000	50,000	0
日本農学会	151,600	233,750	△ 82,150
植物保護科学連合	50,000	50,000	0
日本微生物学連盟	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPP)	0	0	0
事業運営費	2,447,511	2,325,832	121,679
会議費	820,786	778,572	42,214
旅費交通費	1,393,825	1,427,460	△ 33,635
各種委員会関係費	232,900	119,800	113,100
管理費	5,104,314	4,917,344	186,970
通信運搬費	512,754	472,763	39,991
消耗品費	167,621	122,845	44,776
事務管理費	3,365,000	3,334,000	31,000
印刷費	171,218	283,440	△ 112,222
外部監査管理費	149,600	131,000	18,600
雑費	738,121	573,296	164,825
100周年記念事業支援金	13,779,183	3,091,710	10,687,473
経常費用計	61,140,193	53,755,817	7,384,376
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,021,349	△ 4,360,043	△ 1,661,306
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,021,349	△ 4,360,043	△ 1,661,306
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	△ 6,021,349	△ 4,360,043	△ 1,661,306
一般正味財産期首残高	57,547,188	61,907,231	△ 4,360,043
一般正味財産期末残高	51,525,839	57,547,188	△ 6,021,349
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	51,525,839	57,547,188	△ 6,021,349

## (4) 財産目録 (平成27年12月31日現在)

			(単位：円)
貸借対照表科目		場所・物量等	金 額
<b>(流動資産)</b>			
現金		手元保管	465,910
預金		普通預金	8,265,022
		三井住友銀行白山支店	3,424,637
		三菱東京 UFJ 銀行駒込支店	2,104,382
		ジャパンネット銀行	1,133,793
		CITIBANK	1,074,967
		鹿児島銀行	527,243
		部会等預金	3,400,060
振替貯金		ゆうちょ銀行	762,703
未収金		準会員会費	1,439,100
仮払金			1,667,000
総会・大会			1,000,000
編集事務局			500,000
病理			167,000
<b>流動資産合計</b>			<b>15,999,795</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>特定資産</b>			
学術事業安定化基金			22,021,662
		三菱東京 UFJ 銀行駒込支店定期	16,964,269
		三井住友銀行白山支店普通預金	3,000,000
		三井住友銀行白山支店定期	51,393
		ジャパンネット銀行定期	2,006,000
学術奨励基金			17,027,595
		三井住友銀行白山支店定期	17,027,595
国際学術交流基金			9,649,267
		三井住友銀行白山支店定期	8,446,584
		ジャパンネット銀行定期	1,202,683
<b>固定資産合計</b>			<b>48,698,524</b>
<b>資産合計</b>			<b>64,698,319</b>
<b>(流動負債)</b>			
未払金			4,156,480
前受金			9,016,000
正会員会費			8,470,000
学生会員会費			480,000
学部生会員会費			9,000
外国会員会費			57,000
<b>流動負債合計</b>			<b>13,172,480</b>
<b>負債合計</b>			<b>13,172,480</b>
<b>正味財産</b>			<b>51,525,839</b>

## 4. 平成 27 年度会計監査報告

平成 27 年度日本植物病理学会収支決算について、平成 28 年 2 月 16 日に岡田事務所 岡田茂公認会計士の監査を受け、決算書類が「我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、日本植物病理学会の平成 27 年 12 月 31 日をもって終了する会計年度の収支及び正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財産状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。」との監査報告書を受けました。その後、学会会計監査の結果、収支決算が確実なることを確認しました。

平成 28 年 2 月 19 日

会計監査

濱 本 宏 (印)  
平 塚 和 之 (印)  
夏 秋 啓 子 (印)

## 5. 平成 27 年度学会報編集報告

項 目	ページ数											
	JGPP (英文誌)						日植病報 (和文誌)					
	1号 1月	2号 3月	3号 5月	4号 7月	5号 9月	6号 11月	計	1号 2月	2号 5月	3号 8月	4号 11月	計
[ページ数内]												
総説	—	—	—	—	20 (1)	—	20 (1)	8 (1)	6 (1)	—	10 (1)	24 (1)
テクニク	—	11 (2)	7 (1)	—	7 (1)	—	25 (4)	—	—	—	—	—
原著論文	65 (3)	30 (3)	63 (7)	44 (5)	57 (6)	29 (3)	289 (31)	34 (3)	25 (2)	16 (2)	9 (1)	84 (8)
短報	17 (3)	24 (5)	17 (3)	10 (2)	—	5 (1)	77 (14)	5 (1)	8 (2)	—	—	13 (3)
病害短信	13 (3)	11 (3)	—	16 (4)	—	8 (2)	49 (12)	—	—	—	5 (1)	5 (1)
論文総ページ	95 (13)	76 (13)	87 (11)	70 (11)	84 (8)	42 (6)	454 (62)	47 (5)	39 (5)	16 (2)	24 (3)	126 (15)
講演要旨 (会長・受賞者)	—	—	—	—	—	26 (7)	26 (7)	—	—	21 (7)	—	21
100 周年記念式典	—	—	—	—	—	13 (4)	13 (4)	—	—	—	11 (3)	11
講演要旨 (平成 27 年度大会)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	106	—	106
講演要旨 (平成 26 年度部会)	—	—	—	—	—	—	—	53	—	—	—	53
本会記事	—	—	—	—	—	—	—	3	22	—	—	25
その他	1	—	1	—	—	2	4	1	1	1	1	4
計	96 (13)	76 (13)	88 (11)	70 (11)	84 (8)	83 (17)	497 (73)	104 (5)	62 (5)	144 (9)	36 (6)	346 (25)
[ページ数外]												
大会案内・お知らせ	—	—	—	—	—	—	—	8	3	2	7	20
会則・規定	—	—	—	—	—	—	—	17	—	—	—	17
学会ニュース	—	—	—	—	—	—	—	3	6	17	6	37
その他	—	—	—	2	—	—	2	20	4	13	23	60
計	0	0	0	2	0	0	0	53	13	32	36	134
[総計]	96	76	88	72	84	83	499	157	75	176	72	480

\* ( ) 内は論文数

## II-2. 平成28年度会務案

## 1. 行事案

- (1) 学会報（英文誌第82巻第1～6号，和文誌第82巻第1～4号）を発行する。
- (2) 大会，部会，談話会，研究会等を開催する。
- 1) 大会：平成28年3月21～23日 岡山コンベンションセンター（岡山市）
- 2) 北海道部会：平成28年10月19～20日 かでる2・7（札幌市）
- 3) 東北部会：平成28年9月29～30日 コラッセふくしま（福島市）
- 4) 関東部会：平成28年9月29～30日 横浜国立大学（横浜市）
- 5) 関西部会：平成28年9月29～30日 グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）（静岡市）
- 6) 九州部会：平成28年11月9～10日 グランデはがくれ（佐賀市）
- 7) 植物感染生理談話会：平成28年8月10日～12日 シーパル須磨（神戸市）
- 8) 土壌伝染病談話会：平成28年11月8日 グランデはがくれ（佐賀市）
- 9) 植物細菌病談話会：平成28年10月24～25日 京都府立大学（京都市）
- 10) バイオコントロール研究会：平成28年3月24日 岡山大学（岡山市）
- 11) 植物ウイルス病研究会：平成28年3月24日 倉敷市立美術館（倉敷市）
- 12) 殺菌剤耐性菌研究会：平成28年3月24日 岡山大学（岡山市）
- 13) EBC研究会：平成28年9月13日 JAビル（千代田区）
- 14) 植物病害診断研究会：平成28年9月28日～29日 グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）（静岡市）
- 15) 植物病原菌類談話会：平成28年3月23日 岡山コンベンションセンター（岡山市）
- 16) 植物病害診断教育プログラム：平成28年8月29日～9月2日 法政大学（小金井市）
- (3) 学会賞，学術奨励賞，論文賞等の選考を行う。
- (4) 大会において学生優秀発表賞の選考を行う。
- (5) 名誉会員・永年会員の推挙を行う。
- (6) 平成29年度副会長の選挙を行う。
- (7) 日本農学賞，日本農学進歩賞，日本学術振興会賞等の受賞候補者の推薦を行う。
- (8) その他
- ※平成29年度大会：平成29年4月26～28日  
マリオス（盛岡市民文化ホール）  
アイーナ（岩手県民情報センター）（盛岡市）

## 2. 平成28年度一般会計予算書（案）（平成28年1月1日から平成28年12月31日まで）

（単位：円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
<b>I 事業活動収支の部</b>			
1. 事業活動収入			
会費収入	21,570,000	21,655,000	△ 85,000
正会員会費	12,690,000	12,750,000	△ 60,000
学生会員会費	1,400,000	1,300,000	100,000
学部生会員会費	16,000	10,000	6,000
外国会員会費	174,000	180,000	△ 6,000
準会員会費	1,890,000	1,965,000	△ 75,000
賛助会員会費	5,400,000	5,450,000	△ 50,000
会報刊行収入	8,080,000	8,580,000	△ 500,000
頒布収入	2,400,000	2,400,000	0
広告料	180,000	180,000	0
著者負担金	5,500,000	6,000,000	△ 500,000
事業収入	15,100,000	14,300,000	800,000
大会	8,000,000	7,000,000	1,000,000

部会	3,000,000	3,000,000	0
談話会・研究会	3,500,000	3,500,000	0
教育プログラム	600,000	800,000	△ 200,000
研究成果公開促進費収入	3,500,000	2,400,000	1,100,000
雑収入	165,000	165,000	0
預金利息	15,000	15,000	0
雑収入	150,000	150,000	0
<b>事業活動収入計</b>	<b>48,415,000</b>	<b>47,100,000</b>	<b>1,315,000</b>
<b>2. 事業活動支出</b>			
会報刊行費支出	21,600,000	21,400,000	200,000
印刷製本費	16,000,000	16,000,000	0
編集費	5,600,000	5,400,000	200,000
事業支出	17,700,000	16,980,000	720,000
大会	9,000,000	8,000,000	1,000,000
部会	3,700,000	3,700,000	0
談話会・研究会	4,000,000	3,980,000	20,000
教育プログラム	1,000,000	1,300,000	△ 300,000
学術奨励関係費支出	900,000	800,000	100,000
国際学術交流費支出	300,000	380,000	△ 80,000
情報電子化費支出	1,330,000	1,400,000	△ 70,000
HP 充実費	530,000	420,000	110,000
情報維持費	800,000	980,000	△ 180,000
男女共同参画支援費支出	200,000	200,000	0
負担金支出	1,539,000	982,000	557,000
男女共同参画学協会連絡会	5,000	0	5,000
日本技術者教育認定機構 (JABEE)	50,000	50,000	0
日本農学会	124,000	132,000	△ 8,000
植物保護科学連合	50,000	50,000	0
日本微生物学連盟	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPP)	1,160,000	600,000	560,000
事業運営費支出	2,400,000	2,450,000	△ 50,000
会議費	750,000	800,000	△ 50,000
旅費交通費	1,500,000	1,500,000	0
各種委員会関係費	150,000	150,000	0
管理費支出	4,837,000	4,865,000	△ 28,000
通信運搬費	450,000	450,000	0
消耗品費	150,000	150,000	0
事務管理費	3,177,000	3,365,000	△ 188,000
印刷費	250,000	250,000	0
外部監査管理費	150,000	150,000	0
雑支出	660,000	500,000	160,000

100周年記念事業支援金支出	0	11,000,000	△11,000,000
事業活動支出計	50,806,000	60,457,000	△9,651,000
事業活動収支差額	△2,391,000	△13,357,000	10,966,000
<b>II 投資活動収支の部</b>			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	0	6,200,000	△6,200,000
学術事業安定化基金取崩	0	4,600,000	△4,600,000
100周年記念事業特別基金取崩	0	1,600,000	△1,600,000
投資活動収入計	0	6,200,000	△6,200,000
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	6,200,000	△6,200,000
<b>III 財務活動収支の部</b>			
当期収支差額	△2,391,000	△7,157,000	4,766,000
前期繰越収支差額	2,827,315	7,248,664	△4,421,349
次期繰越収支差額	436,315	91,664	344,651

### 3. 学会報編集計画案

#### (1) 編集機関

学会誌第82巻の編集は、英文誌 (Journal of General Plant Pathology), 和文誌 (日本植物病理学会報 Japanese Journal of Phytopathology) とともに下記のように名古屋大学にて行う。

編集事務局：名古屋大学農学部

編集委員長：川北一人 (名古屋大学)

編集副委員長：柘植尚志 (名古屋大学)

編集幹事長：竹本大吾 (名古屋大学)

印刷：英文誌 シュプリンガー・ジャパン (株)

和文誌 中西印刷 (株)

発行日：英文誌 1号1月, 2号3月, 3号5月,

4号7月, 5号9月, 6号11月

和文誌 1号2月, 2号5月, 3号8月,

4号11月

#### (2) 投稿要領

原稿は投稿規定・細則に従って作成し、和文誌については、編集委員長 (〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学生命農学研究科 川北一人) 宛に送付すること。

英文誌については、ウェブサイト <https://www.editorialmanager.com/jgpp/> にアクセスして投稿すること。

### 平成28年度役員および委員

会長 桑田 茂

副会長 夏秋知英

評議員 (◎常任)

北海道地区 ◎近藤則夫 増田 税 眞岡哲夫

東北地区 ◎佐野輝男 高橋英樹 吉川信幸  
石黒 潔

北関東地区 ◎夏秋知英 ◎津田新哉 阿久津  
克己 對馬誠也 仲川晃生

渡邊 健 青木孝之 佐藤豊三

南関東地区 ◎難波成任 ◎有江 力 平塚和之

宇垣正志 夏秋啓子 根岸寛光

寺岡 徹 桑田 茂 濱本 宏

北 宜裕

中部地区 ◎景山幸二 瀧川雄一 川北一人

高松 進 柘植尚志 守川俊幸

近畿地区 ◎奥野哲郎 久保康之 土佐幸雄

中屋敷均 大木 理

中国・四国地区 ◎一瀬勇規 秋光和也 曳地康史

児玉基一朗 荒瀬 榮

九州地区 ◎岩井 久 大島一里 平八重一之

土屋健一

編集委員長 川北一人

庶務幹事長 吉田重信



会長指名 長谷川裕 廣岡 卓 金山晋治  
 窪田昌春 松永 礼 中島 隆  
 高橋賢司 竹下 稔 月星隆雄

会計監査 濱本 宏 夏秋啓子 根岸寛光

原著編集委員 (◎委員長, ○副委員長)  
 ◎川北一人 ○柘植尚志  
 Bogdanove, A.J. Coffey, M.D.  
 林 長生 Inoue-Nagata, A.K.  
 磯貝雅道 伊藤隆男 Jung, H.-Y.  
 川口 章 木場章範 Murray, T.D.  
 中原健二 中島千晴 中屋敷均  
 西澤洋子 Pappu, H.R. 澤田宏之  
 宍戸雅宏 曾根輝雄 須賀晴久  
 鈴木 匡 鈴木信弘 高野義孝  
 瀧川雄一 東條元昭 Walsh, J.A.  
 Wirsel, S.G.R. 吉岡博文 Yun, S.-H

賞選考委員 (◎委員長)  
 ◎桑田 茂 一瀬勇規 久保康之  
 夏秋知英 瀧川雄一 寺岡 徹  
 吉川信幸

功績者推薦委員 (◎委員長)  
 ◎奥野哲郎 濱本 宏 桑田 茂  
 津田新哉

選挙管理委員 (◎委員長)  
 ◎有江 力 濱本 宏 北 宜裕

病名委員 (◎委員長)  
 ◎窪田昌春 青木孝之 荒城雅昭  
 藤 晋一 井上康宏 伊藤陽子  
 岩井 久 門田育生 小板橋基夫  
 近藤則夫 松下範久 森脇丈治  
 夏秋啓子 大木 理 佐橋憲生  
 笹谷孝英 佐藤豊三 佐藤 衛  
 菅原 敬 須崎浩一 竹内 純  
 瀧川雄一 田中文夫 月星隆雄

幹 事

庶務幹事長 吉田重信  
 庶務副幹事長 平塚和之  
 庶務幹事 越智 直 山内智史  
 会計幹事 鍵和田聡  
 副会計幹事 古谷綾子  
 編集幹事長 竹本大吾  
 編集幹事 足立嘉彦 荒川征夫 千葉壮太郎  
 平田久笑 飯田祐一郎 加藤久晴  
 加藤新平 西内 巧 佐藤育男

清水将文 篠原 信 高原浩之  
 渡辺秀樹

専門委員会 (◎委員長)  
 学会ニュース編集委員会  
 ◎高橋賢司 吉田重信 平塚和之  
 池田健太郎 越智 直

植物ウイルス分類委員会  
 ◎吉川信幸 畑谷達児 岩波 徹  
 近藤秀樹 難波成任 大木 理  
 大島一里 鈴木信弘 津田新哉  
 藤 晋一

国際化対応委員会  
 ◎夏秋啓子 濱本 宏 曳地康史  
 近藤則夫 桑田 茂 佐野輝男  
 柘植尚志 吉田重信 吉川信幸

将来問題検討委員会  
 ◎難波成任 相野公孝 古谷綾子  
 濱本 宏 平塚和之 廣岡 卓  
 北 宜裕 中島 隆 夏秋知英  
 柘植尚志 土佐幸雄

教育プログラム推進委員会  
 ◎夏秋知英 濱本 宏 石黒 潔  
 小松 健 根岸寛光 竹下 稔  
 津田新哉 對馬誠也

技術士対応委員会  
 ◎桑田 茂 古谷綾子 濱本 宏  
 平塚和之 中保一浩 大島研郎  
 白石俊昌 山次康幸

5 学会技術士育成推進委員会  
 ◎桑田 茂 古谷綾子 濱本 宏  
 中保一浩 山次康幸

JABEE 対応委員会  
 ◎濱本 宏 有江 力 岩井 久  
 古賀博則 増田 税 夏秋知英  
 根岸寛光 大木 理 大里修一  
 大島一里 宍戸雅宏 高橋英樹  
 瀧川雄一 土佐幸雄 豊田和弘

男女共同参画学協会連絡会  
 夏秋啓子

部会長

北海道部会長 眞岡哲夫  
 東北部会長 石黒 潔  
 関東部会長 平塚和之  
 関西部会長 景山幸二

九州部会長	平八重一之	Forest Pathology	鈴木和夫
日本学術会議・日本農学会・国際学会等の委員		Fusarium	青木孝之
日本学術会議会員 (第二部)	上田一郎	Phytophthora	東條元昭
連携会員	白石友紀 夏秋啓子	Rhizoctonia	荒川征夫
植物保護科学連合運営委員会	吉田重信 夏秋啓子 鍵和田聡	Seed Pathology	加来久敏
日本微生物学連盟副理事長	上田一郎	Soilborne Plant Pathogens	宍戸雅宏
日本農学会 評議員	夏秋知英 桑田 茂	Taxonomy of Plant Pathogenic Bacteria	瀧川雄一
運営委員・常任委員	前島健作	アジア植物病理学会 (AASPP)	
財団法人農学会 農学技術者教育推進委員会		Council Member	曳地康史
	濱本 宏	平成 28 年度大会運営委員会	
国際微生物連合 (IUMS)		大会 委 員 長: 多賀正節	
対応委員	一瀬勇規	大会 委 員 長 代理: 鈴木信弘	
プログラム委員	宍戸雅宏	プログラム委員長: 秋光和也	
ウイルス分類委員	吉川信幸	幹事長・総会担当: 一瀬勇規	
細菌命名委員	瀧川雄一	大会 H P 担 当: 山本幹博	
国際植物保護会議 委員	有江 力	会 場 担 当: 豊田和弘	
国際植物病理学会 (ISPP)		会 計 担 当: 能年義輝	
Council Members	秋光和也 久保康之 夏秋知英 高橋英樹 土屋健一	スライド受付担当: 鈴木信弘	
Correspondent for Newsletter	川北一人	学生優秀賞担当: 近藤秀樹	
Members of Committee		広告・展示担当: 松井英謙	
Bacteriology	土屋健一	懇 親 会 担 当: 谷名光治	
Chemical Control	石井英夫	運営委員: 市村和也 井上幸次 畔柳泰典 香西雄介	
Epidemiology	大藤泰雄	五味剣二 新屋友規 世良貴史 田村勝徳 中野真人	
		鳴坂義弘 鳴坂真理 兵頭 究 向原隆文 (50 音順)	

## 名誉会員および永年会員

## 名 誉 会 員

浅田泰次	道家紀志	遠藤武雄	後藤正夫	日比忠明	平野和弥	堀野 修	飯田 格	梶原敏宏
加藤 肇	岸 國平	小林享夫	甲元啓介	小島 誠	久能 均	松山宣明	眞山滋志	野中福次
生越 明	奥 八郎	奥田誠一	大内成志	佐古宣道	四方英四郎	鈴木孝仁	高橋 壯	高浪洋一
寺中理明	土崎常男	露無慎二	渡辺 實	山田昌雄	山口 昭	山中 達	米山勝美	

## 永 年 会 員

荒井 啓	浅川 勝	江塚昭典	舟山広治	濱屋悦次	原田幸雄	部田英雄	平塚利子	比留木忠治
堀 眞雄	一谷多喜郎	飯嶋 勉	池上雍春	池上八郎	井上成信	石島 嶺	祝迫親志	神澤克一
勝部利弘	菊本敏雄	木村俊夫	小林尚志	児玉不二雄	駒田 旦	越水幸男	久保 進	久原重松
倉橋良雄	牧野 精	松本 勤	水沢芳名	長井雄治	内藤秀樹	根本正康	贄田裕行	西村典夫
野村幸彦	野津幹雄	大口富三	大沢高志	太田舜三	尾崎武司	大島俊市	大谷快夫	齋藤 泉
酒井隆太郎	坂本 庵	柴田幸省	下村 徹	孫工弥寿雄	角名郁郎	周藤靖雄	但見明俊	高桑 亮
高野喜八郎	丹田誠之助	富樫二郎	鳥山重光	土屋貞夫	宇田川晃	植松 勉	上杉康彦	渡邊恒雄
山口武夫	山本孝彦	安盛 博	横山佐太正	米山伸吾	吉村大三郎	吉野嶺一	湯川敬夫	善林六朗

## II-3. 会則・規程の改正 (案)

改正する事項について、概要を記し、条文の具体的な改正点を新旧対照表に記した。

## 日本植物病理学会論文審査編集規程の改正

編集委員長，編集幹事長，編集幹事および原著編集委員の任期の改正。

改正後	現 行
4. <u>編集委員長，編集幹事長および編集幹事の任期は2年で，原則1期とするが，2期を限度として再任を妨げない。原著編集委員の任期は2年とし，再任を妨げない。いずれも，任期満了に伴う交代は12月末日とする。講演要旨編集委員の任期は，大会委員長，部会長の任期とする。</u>	4. <u>編集委員長および原著編集委員の任期は2年で，2期までとする。ただし，その後1期以上中断後の再任は可とする。編集幹事長および編集幹事の任期は2年で，2期までとする。編集委員長，原著編集委員および編集幹事の任期満了に伴う交代は12月末日とする。講演要旨編集委員の任期は，大会委員長，部会長の任期とする。</u>

## 日本植物病理学会報（和文誌・英文誌）投稿規定の改正

会員，非会員の超過頁，カラー印刷に関する規定等の改正。

改正後	現 行
8. <u>総説は刷り上がり8頁以内，原著論文は刷り上がり6頁以内，短報・論説・病害短信は刷り上がり3頁以内を原則とする。この頁数を超過した分は実費を著者負担とする。ただし，総説では12頁，原著論文では10頁，短報・論説では5頁，病害短信では3頁を超えないことが望ましい。なお刷り上がり1頁は2100字程度である。</u>	8. <u>総説は刷り上がり8頁以内，原著論文は刷り上がり6頁以内，短報・論説は刷り上がり3頁以内，病害短信は刷り上がり2頁以内を原則とする。この頁数を超過した分は実費を著者負担とする。ただし，総説では12頁，原著論文では10頁，短報・論説では5頁，病害短信では3頁を超えないことが望ましい。</u>
11. <u>著者は，掲載された論文において制限頁数内の印刷1頁につき，投稿料として，非会員は6,000円を支払うものとし，会員は無料とする。ただし，超過頁は<u>会員および非会員ともに1/2頁につき18,000円を支払うものとする。カラー印刷頁は別途実費**を支払うものとする。</u></u>	11. <u>著者は，掲載された論文において制限頁数内の印刷1頁につき，投稿料として，非会員は6,000円をそれぞれ支払うものとし，<u>会員および外国会員は無料とする。ただし，超過頁は1頁につき36,000円，カラー印刷頁は実費をそれぞれ支払うものとする。</u></u>
(脚注) **A4片面64,000円，A4片面連続105,000円を目安とする。 なお，PDF版におけるカラー写真の掲載は無料とする。	

改正後	現 行
<p>Page Limits and Page Charges</p> <p>Reviews and Full-length articles should not exceed 8 and 6 printed pages, respectively, and Short communications, Letters to the editor and Disease notes should be no longer than 3 printed pages. Techniques should not exceed 4 pages. Pages beyond these limitations will be subject to an excess page charge. Reviews and Full-length articles cannot exceed 12 and 10 printed pages, respectively, and Short communications or Letters to the editor, 5 printed pages. Disease notes cannot exceed 3 printed pages. <u>One printed page has about 900 words.</u> For a corresponding author who is a member of the Phytopathological Society of Japan (PSJ), there is no page charge. For a nonmember corresponding author, the page charge is US\$15 per printed page. The excess page charge is <u>US\$75 per 1/2 page</u> for members and nonmembers alike. <u>Color art is free of charge for online publication. For the print version, the charge for color art is JPY 152,000 plus tax for each publication.</u></p> <p>This statement of page charges notwithstanding, a Japanese corresponding author will be charged at a different standard and should pay in yen as specified in the general requirements in the Japanese Journal of Phytopathology (no charge and JPY 6000 per printed page for members and nonmembers, respectively; <u>JPY 18 000 per 1/2 excess page</u> for members and nonmembers alike.)</p> <p>Because of fluctuation in printing costs, page charges are subject to change without notice.</p>	<p>Page Limits and Page Charges</p> <p>Reviews and Full-length articles should not exceed 8 and 6 printed pages, respectively, and Short communications and Letters to the editor should be no longer than 3 printed pages. <u>Disease notes should not exceed 2 pages, and Techniques should not exceed 4 pages.</u> Pages beyond these limitations will be subject to an excess page charge. Reviews and Full-length articles cannot exceed 12 and 10 printed pages, respectively, and Short communications or Letters to the editor, 5 printed pages. Disease notes cannot exceed 3 printed pages.</p> <p>For a corresponding author who is a member of the Phytopathological Society of Japan (PSJ), there is no page charge. For a nonmember corresponding author, the page charge is US\$15 per printed page. The excess page charge is <u>US\$150 per page</u> for members and nonmembers alike.</p> <p>This statement of page charges notwithstanding, a Japanese corresponding author will be charged at a different standard and should pay in yen as specified in the general requirements in the Japanese Journal of Phytopathology (no charge and JPY 6000 per printed page for members and nonmembers, respectively; <u>JPY 36 000 per excess page</u> for members and nonmembers alike.)</p> <p>Because of fluctuation in printing costs, page charges are subject to change without notice.</p>

## 日本植物病理学会報（和文誌）投稿細則の改正

文言等の改正.

改正後	現 行
<p>1. 原稿はA4判用紙縦型に横書きし、40字前後／行、25行で行間隔を広くとって（7～9 mm）印字する。なお刷り上がり1頁は2100字程度である。</p> <p>・・・</p> <p>・・・</p> <p>・・・</p> <p>・・・</p> <p>（削除）</p> <p>6. 表および図は以下の点に留意する。</p>	<p>1. 原稿はコンピュータあるいはワードプロセッサ等を用いてA版用紙に縦書きし、32～40字／行、25行で行間隔を広くとって（7～9 mm）印字する。ワードプロセッサ等が使用できない場合はA4判縦型横書き400字詰原稿用紙（20×20）に記述する。なお刷り上がり1頁は2100字程度である。</p> <p>・・・</p> <p>印刷字体の指定はイタリック（下線）、ゴシック（波下線）とする。</p> <p>6. 表および図は以下の点に留意する。</p>

a) 表は本文中に直接挿入せず、個々に別紙 (A4 判) に刷り上がり時と同様のスタイルで印刷する。表中の文字は・・・	a) 表は本文中に直接挿入せず、個々に別紙 (A4 判) に刷り上がり時と同様のスタイルで、 <u>コンピュータあるいはワードプロセッサ</u> 等を用いて清書する。表中の文字は・・・
c) 図は原則として著者の原図をそのまま使用できるように、約 1/2 (面積としては約 1/4) に縮尺できる大きさに描く。・・・	c) 図は原則として著者の原図をそのまま使用できるように、 <u>図中の文字もレタリング</u> 、高密度印字のコンピュータあるいはワードプロセッサ等で記入し、約 1/2 (面積としては約 1/4) に縮尺できる大きさに描く。・・・
e) 図の表題と説明はそれぞれ別の A4 判用紙に印刷する。	e) 図の表題と説明はそれぞれ別の A4 判用紙に <u>コンピュータあるいはワードプロセッサ</u> 等で清書する。

### III. 平成 28 年度日本農学会評議員会議事要旨

日 時：平成 28 年 1 月 22 日 (金) 10 時～17 時 20 分

場 所：東京大学農学部 3 号館 4 階大会議室

出席者：三輪睿太郎会長， 會田勝美副会長， 西澤直子副会長， 柴田道夫 (園芸) / 彦坂晶子 (園芸 (代))， 守谷和幸 (シス農)， 矢口行雄 (樹医)， 平井伸博 (植物調)， 白石則彦 (森計)， 金子真司 (森立 (代))， 吉村 淳 / 堤 伸浩 (育種)， 天野良彦 / 中野博文 (応糖)， 岩淵喜久男 / 矢野栄二 (応動昆)， 斎藤 豊 (海水)， 小野珠乙 (家禽)， 杉原たまえ (国地開)， 齊藤邦行 / 山内 章 (作物)， 嶋田 透 (蚕糸)， 富永 達 (雑草)， 矢口重治 (芝草)， 関崎 勉 / 桑原正貴 (獣医)， 寺岡 徹 / 桑田 茂 (植病)， 大河原勇 (森林) / 正木 隆 (森林 (代))， 佐藤秀一 / 良永知義 (水産)， 大竹臣哉 (水産工)， 川村周三 (生環工 (代))， 澤田 均 (草地 (代))， 小泉聖一 / 半澤 恵 (畜産)， 間藤 徹 / 犬伏和之 (土肥)， 相野公孝 (土微)， 岩崎直人 (熱農)， 大政謙次 (農気象)， 南石晃明 (農経営)， 生源寺眞一 / 玉真之介 (農経)， 植田和光 / 三輪清志 (農化)， 米山弘一 / 三好秀人 (農薬)， 田中知己 (繁生 (代))， 斎藤 修 (フード)， 大倉利明 (ペドロ (代))， 鮫島正浩 (木材) / 横山朝哉 (木材 (代))， 服部順昭 (木加工)， 内野敏剛 / 芋生憲司 (農食工)， 池口厚男 (農施)， 町田武美 (農情)， 小前隆美 (農村工 (代)) / 久保成隆 (農村工 (代))， 山路永司 (農計)， および， 矢沢勇樹， 太田能之， 野村昌史， 前島健作， 牧野義雄， 松村一善， 勝間 進， 嶺田拓也各常任委員

午後出席：安村 基 (木質)

欠席委任状：北田紀久雄 (実農)， 宮城俊作 / 横張 真 (造園)， 万年英之 (動物育種)， 柿澤宏昭 (林経)

欠席者：山本定博 (砂丘)， 瀧川具弘 (農作業)

議長：三輪会長

評議員会成立に要する定足数を確認した後，三輪会長より挨拶，議事について説明があり議長として議事を進行した。

#### 議事 1. 常任委員の交代の件

矢沢庶務担当常任委員より，新常任委員交代について紹介があった。28 年度は，昨年から継続の 3 名，野村昌史 (日本応用動物昆虫学会)，前島健作 (日本植物病理学会)，牧野義雄 (農業食料工学会) と，今年度からの 3 名，松村一基 (日本砂丘学会)，勝間 進 (日本蚕糸学会)，嶺田拓也 (日本雑草学会) の，計 6 名となる。

#### 議事 2. 平成 27 年度事業報告

矢沢庶務担当常任委員より資料に基づき，平成 27 年度日本農学会大会概要，平成 27 年度日本農学会シンポジウム概要 (野村企画担当常任委員から報告)，平成 26 年度シンポジウム成果概要書出版，その他 (共催・後援等) についてそれぞれ説明があり，審議の後，承認された。

#### 議事 3. 平成 27 年度収支報告 (案)

太田会計担当常任委員より資料に基づき，平成 27 年度収支計算書について説明があり，審議の後，承認された。

#### 議事 4. 平成 27 年度監査報告

丹下監査委員より，平成 28 年 1 月 14 日に平成 27 年度監査が実施され，実施事業，会計は適切に処理されていることを確認した旨の説明があり，審議の後，承認された。

#### 議事 5. 平成 28 年度事業計画 (案)

矢沢庶務担当常任委員より資料に基づき，平成 28 年度日本農学会シンポジウム実施案，平成 27 年度シンポジウム成果概要書出版等について説明があった。とくにシンポジウムについては，野村企画担当常任委員より進捗状況について詳細な説明があり，審議の後，承認された。

#### 議事 6. 平成 28 年度収支計画 (案)

太田会計担当常任委員会より資料に基づき，平成 28 年度収支計画 (案) について説明があり，審議の後，承認された。

#### 議事 7. 日本農学会運営細則の一部改正について

矢沢庶務担当常任委員より資料に基づき，日本農学会運営細則の一部改正について説明があり，審議の後，承認された。

## 議事8. 会長, 副会長ならびに監査委員の改選

日本農学会運営細則2に基づき会長, 副会長ならびに監査委員を次の通り改選した.

会長 三輪睿太郎

副会長 會田勝美, 西澤直子

監事 植田和光, 丹下 健

## 議事9. その他

卓越研究成果公開事業について三輪会長より説明があり, 審議の後, 承認された.

午後からの選考会について説明があった.

## 議事10. 日本農学賞・読売農学賞(推薦候補)の選考

候補者13名について, 推薦学会による業績発表の後, 投票および開票が行われ, 以下7名の日本農学賞受賞者が決定した(五十音順, 敬称略, カッコ内は推薦学会).

安藤 哲(日本農薬学会), 磯貝 明((一社)日本木材学会), 金子豊二((公社)日本水産学会), 河岸洋和((公社)日本農芸化学会), 高井伸二((公社)日本獣医学会), 野口 伸(日本生物環境工学会, 農業情報学会), 松岡 信((一社)日本育種学会)

上記7名を読売農学賞の授賞候補者として推薦することが承認された.

以上

## IV. 平成28年度第1回日本農学会運営委員会議事録

日時: 平成28年3月7日(月)15時~16時

場所: 東京大学弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

出席者: 三輪睿太郎会長, 會田勝美副会長, 峯 洋子(園芸), 矢部和弘(シス農), 土田志郎(実農), 岡田憲典(植調), 大貫靖浩(森立), 藤本 優(育種(代)), 伏信進矢(応糖科), 野村昌史(応動昆), 山田隆一(国地開), 松村一善(砂丘), 鴨下頭彦(作物), 勝間 進(蚕糸), 嶺田拓也(雑草), 金井克晃(獣医), 前島健作(植病), 伊藤直樹(水産), 塩出大輔(水工), 安永円理子(生環), 大黒俊哉(造園/農計), 山内啓太郎(畜産), 野村こう(動遺育), 大塚重人(土肥), 小原廣幸(熱農), 米村正一郎(気象(代)), 福与徳文(農経), 大西康夫(農化), 森山裕充(農薬), 齋藤継之(木材), 牧野義雄(農食工), 中村典裕(農情), 吉田修一郎(農村工), 黒住圭子(事務担当)

欠席者: 西澤直子副会長, 松下範久(樹医), 吉本 敦(森計), 矢沢勇樹(海水), 太田能之(家禽), 高橋新平(芝草), 正木 隆(森林), 石川尚人(草地), 横山 正(土微), 宮武恭一(経営), 林 久喜(農作), 杉浦幸二(繁殖), 小林弘明(フード), 大倉利明(ペドロ), 青木謙治(木加

工), 荒木徹也(農施), 井上雅文(木質), 八巻一成(林経)

議長: 三輪会長

進行: 牧野庶務担当常任委員

議事:

1. 役員・新常任委員について
2. 平成27年度第3回日本農学会議事録(案)
3. 平成28年度日本農学会評議員会報告
4. 平成28年度(第87回)日本農学大会準備状況
5. 平成28年度シンポジウム準備状況
6. 出版関連準備状況
7. 平成29年度シンポジウムテーマ募集について
8. その他

配布資料

1. 平成27年度第3回運営委員会議事録(案)
2. 平成28年度評議員会議事要旨
3. 平成27年度会計書
4. 平成28年度(第87回)日本農学大会プログラム(案)
5. 平成28年度日本農学会シンポジウム実施(案)
6. 平成28年度企画委員一覧
7. 平成27年度日本農学会シンポジウム成果概要出版について
8. 平成29年度日本農学会シンポジウムテーマ募集
9. 平成28年度日本農学会役員一覧
10. 常任委員割り当て表
11. 日本農学大会ポスター

議事1. 役員交代について

評議員会で役員改選があり三輪会長, 會田副会長, 西澤副会長が再任され, 三輪会長, 會田副会長から挨拶があった. 今年度の常任委員6名についてはそれぞれ挨拶があった.

庶務担当: 牧野義雄, 勝間 進

会計担当: 前島健作, 嶺田拓也

企画担当: 野村昌史, 松村一善

議事2. 平成27年度第3回日本農学会運営委員会議事録(案)の承認について

牧野庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された.

議事3. 平成28年度日本農学会評議員会報告

牧野庶務担当常任委員より資料に基づき報告があった.

前島会計担当常任委員より平成27年度収支計算書, 平成28年度収支予算書について報告があった.

議事4. 平成28年度(第87回)日本農学大会準備状況

牧野庶務担当常任委員より資料に基づき4月5日の日本農学会プログラム等の説明があり了承された. また, 日本農学大会のポスター掲示と参加のお願いがあった.

**議事 5. 平成 28 年度シンポジウム準備状況**

野村企画担当常任委員よりプログラムについて説明があった。講演者のタイトルも決定しポスターの制作する旨報告があった。また、「山」がテーマなので運営委員の方にもぜひ周知と出席のお願いがあった。

**議事 6. 出版関連準備状況**

野村企画担当常任委員より資料に基づき昨年秋のシンポジウム概要出版書が 4 月 5 日の大会の日に刊行される旨説明あった。

**議事 7. 平成 29 年度シンポジウムテーマ募集について**

松村企画担当常任委員より資料に基づき例年に通りにシンポジウムテーマ募集について説明があった。

**議事 8. その他**

- 牧野庶務担当常任委員より、評議員、運営委員一覧を確認いただき訂正、変更があったら事務局へ連絡いた

だきたいとのお願いがあった。

- 三輪会長より、学術著作権協会についての報告があった。また、学術振興協会の「卓越研究成果公開事業」も進んでおり、委員として牧野庶務担当常任委員へお願いしている旨報告があった。
- 今年度会議日程、平成 29 年評議員会は平成 29 年 1 月 20 日（金）、第 2 回運営委員会 9 月 5 日（月）、第 2 回運営委員会 12 月 12 日（月）、の予定との報告があった。

**V. 日本植物病理学 100 年史 記事の訂正**

「日本植物病理学 100 年史」（日本植物病理学会報第 81 巻特別号）において、下記の記事に誤記がありましたので、お詫びして訂正いたします。

- p. 373. (1) 名誉会員「1981 年（昭和 56 年）山田昌雄」を、「1999 年（平成 11 年）山田昌雄」に訂正。